



風だより (2024 年7・8月)

令和7年7月

社会福祉法人 将友会

風の丘・上大岡東保育園

TEL 045-846-3938

強い日差しとともに、本格的な夏がやってきました。汗ばむ季節ではありますが、水の心地よさを感じながら、子どもたちは毎日元気に過ごしています。6月末には、子どもたちが楽しみにしていたプール開きが行われました。水の感触に目を輝かせながら、思いきり水遊びを楽しむ姿は、この季節ならではの生き生きとした表情です。暑さに負けず、こまめな水分補給や体調管理にも気をつけながら、夏の遊びを安全に楽しんでいきたいと思います。

また、先月きりん組では田植え体験を行いました。あいにくの雨天により、当初予定していた日程からの変更となり、ご迷惑をおかけしました。2日間にわたってお弁当のご準備をしてくださった保護者の皆さまには、心より感謝申し上げます。お忙しい朝のなかでのご対応、本当にありがとうございました。さらに、当日はご参加・ご同伴いただいた保護者の皆さまにも、遠方まで足を運んでいただき、大変お世話になりました。子どもたちにとって、田んぼに足を入れて泥の感触を楽しみながら苗を植えるという体験は、五感に残る貴重なものになったことと思います。

園内では、春に苗や種を植えた野菜たちがぐんぐん育ち、小さな実をつけ始めています。園内で植えた稲苗も少しずつ背を伸ばし、風に揺れる姿が頼もしく感じられます。テラスにある作物の緑も日ごとに濃くなり、草取りや水やりや観察を通して作物の成長を感じながら、子どもたちの心もゆっくりと育まれていくといいなと思います。

これから夏本番。暑さに十分気をつけながらも、子どもたちの心と体がのびやかに成長できるよう、季節の変化を楽しみながら過ごしていきたいと思います。

(園長 前田一徳)

* 7・8月の予定 *

7月 7日(月) セタ集会

～16日(水) 避難訓練

16日(水) きりんぐみ味噌作り

22日(火) 身体測定

8月 4日(月) バイオリンコンサート

【FionyDuo】

20日(水) 避難訓練

20日(水) きりんぐみ味噌作り

25日(月) 身体測定

☆きりんぐみ味噌作りでは、
エプロン・三角巾・マスクをお忘れなく
お願い致します



～調理室より～

今年度より、給食にぬかふりかけを提供しています。

『ぬかふりかけ』のレシピを公開いたします。

<材料>※作りやすい分量

○炒りぬか 2カップ

○醤油 大さじ 2 と 1/2 (37.5g)

○みりん 大さじ 2 と 1/2 (37.5g)

○白ごま 大さじ 4 (60g)

○おかか 約 4g (小分け1パック)

○塩 小さじ 2 (10g)

○青のり 適量

<作り方>

①フライパンで弱火で焦げないように炒りぬかを炒る。

②醤油・みりんを加える。この時、フライパンの中ではダマができています、
木べらなどで混ぜながらダマをつぶしていく。※焦がさないように極弱火で。

③ある程度ダマがなくなってきたら、白ごま・おかか・塩・青のりを加える。

④全体がなじんだら出来上がり。

○炒りぬかはスーパーで比較的に安価で購入できます

○焦げないように、極力弱火で。約10～15分程度でできます。

○白ゴマの代わりに黒ゴマでも OK です。

○空き瓶などに入れ、冷蔵庫で保存し、約1週間で使い切るようにしてください。



食育だより

野菜や草花の栽培を通して



りす組

暑さも日を追うごとに強くなり、いよいよ夏本番を迎えそうです。先月プランターに植えたスイカ、きゅうり、ゴーヤ、アサガオ、は網にツルを伸ばしすくすく成長をしています。子ども達は大きくなった葉っぱや実にそっと触り「何ができるのかな」と不思議顔です。子ども凶鑑でスイカやきゅうりを指差し「もうすぐ食べられるかもよ」と教えると、つまんで食べる真似をしたり、おいしいポーズをして可愛らしい姿を見せてくれています。収穫できたら自然の恵みを美味しくいただきたいと思います。今年も厳しい暑さになるといわれています。ご家庭でも規則正しい生活、こまめな水分補給を心がけて過ごしていきましょう。

うさぎ組

暑い日が続いていますが、元気いっぱいに園庭遊びを楽しんでいるうさぎ組さんです。

うさぎ組はりす組さんや幼児クラスと一緒にさつまいもの苗を育てたり、プランターにすいかやきゅうりやごうやを植えて食育を兼ねた栽培に挑戦しています。保育者の動きに興味を持って一緒に植えたり水をあげたり生長を観察しています。快晴が続き、葉っぱに元気がないことも見られますが、子どもたちと生長を楽しみに育てていきたいと思います。

こあら組

今年、こあら組では「スイカ」「ゴーヤ」「サツマイモ」(園全体で)「お米」を育てています。天候が良いのでスイカの生育がとても早く可愛い実をつけています。

先日、スイカの花が咲いたとき「これは、虫さんがしてくれるお仕事だけど。。」と筆で受粉を行いました。他のクラスで栽培している野菜の育ちにも興味を持ち気づいたこと、発見したことを嬉しそうに伝えてくれます。お米は、種もみから育てています。最近のお米事情を皆でお話し、きりん組の田植え体験の繋がりになればと思っています。生育過程を門扉入った所の掲示板に掲示していますので、ご覧ください。

ぱんだ組

ぱんだ組では、トマトとオクラの栽培をサークルタイムを通して、子どもたちと決めて行きました。子どもたちは毎日、野菜の成長を見守り、「あっ！トマトが赤くなってるよ」トマトの変化に驚いていたり、「オクラの花が咲いて綺麗だね」と栽培している植物の変化を敏感に感じながら過ごしていました。トマトは収穫をしようとすると鳥にたべられてしまったのか、落ちていて「トマトがなくなってる」とがっかりした表情で残念がっていました。オクラは、みんなで収穫しました。他にもトウモロコシの皮むきを行ったりと野菜と沢山触れ合う機会が持つことができ、食に対しての興味を更に広げていきたいと思います。

きりん組

日に日に大きく成長するきゅうり。実が成り始め、「あ、これがきゅうりだね」「こんなに小さいんだね」などと友だち同士で伝え合う姿が見られるようになってきました。味噌作り体験に取り組んでいるところなので、「これ、味噌につけて食べたらおいしいよ」と今から待ち遠しい様子のきりん組です。またトウモロコシも種を小さな入れ物から育て、芽を出したので、大きなプランターにうつしました。小さな芽を取り扱う丁寧な手つきや、水を与える表情に、植物への思いやりや育てほしいという願いが見受けられました。成長する過程の小さな発見に気づき、友だちと観察するひとときを楽しんでいます。